

飛鳥 高等学校 令和8年度（1年次用）教科

芸術 科目 工芸 I

教科：芸術

科目：工芸 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 年次 1 組～ 6 組

使用教科書：（高等学校芸術科工芸 I（日本文教出版））

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸 I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|------------------------------|
| ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ○意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。 | ○造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値観をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 | ○主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組みもうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|---|----|---|---|---|---|---|---|----------|
| | | | 身 | 社 | 賞 | | | | | |
| 1 学 期 | A. 工芸と自然のかかわり 【知識及び技能】 ・記号について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な形態を観察し、意識の潮上にあげる 【学びに向かう力、人間性等】 ・観察を元に記号化・単純化による美しさを感じ、平面表現する。 | ○ 工芸と自然のかかわり (1) 自然物・人工物の観察・鑑賞 (2) 観察をもとに平面表現 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | B. 個人紋 【知識及び技能】 ・家紋の伝統と文化について学習し、その機能・美しさ・多様性を理解する。 ・知的財産権を理解し、創造性を尊重する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の特徴について考えをめぐらせ、発想・構想する。 ・単純化・変形による記号化を行い、個人紋をデザインする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・個人紋の制作を行う。 | ○個人紋 (1) 家紋について (2) 個人紋デザイン (3) 制作 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 14 |
| | C. 素材と技法・土でつくる 【知識及び技能】 ・平面図と立体作品について造形的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・たたらくりの技法について理解し制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 基本的な技法を習得し、創造的に制作する。 | ○素材と技法・土でつくる (1) 陶芸について概説・鑑賞 (2) アイデアスケッチ・型紙づくり (3) たたらづくり (4) 下絵付け・施釉 (5) 鑑賞 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 2 学 期 | D. 素材と技法・金属でつくる 【知識及び技能】 ・身近な生活における装飾品としての指輪を鑑賞し、デザイン・素材について理解する。 ・技法・素材・用具・手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身の興味・関心からモチーフを考え、実用と美しさを吟味して創造的にデザインする。 ・不適切な使用によって起こりうる事故を理解し、安全に作業をおこなう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の質を高める作業を心得る。 ・素材の魅力が充分あらわれるまで研磨をおこなう。 | ○素材と技法・金属でつくる（製造・指輪） (1) 鑑賞 (2) デザイン (3) ワックスによる原型制作 (4) 雌型制作 (5) 鋳造 (6) 研磨 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 28 |

飛鳥 高等学校 令和8年度(2, 3年次用) 教科 芸術 科目 工芸Ⅱ

教科: 芸術 科目: 工芸Ⅱ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2,3年次 1組~ 6組

使用教科書: (高等学校芸術科工芸Ⅱ (日本文教出版))

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 工芸Ⅱ の目標:

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、個性豊かに創造的に表すことができるようにする。素材の特徴を理解、生かすような創意工夫をする。 | 造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の役割りなどについて考える。想いや願いから個性豊かに発想し、自己の価値観を高め工芸や伝統・文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。 | 主体的に工芸の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|--|---|----|---|----|--|---|---|---|----------|
| | | | 身 | 社 | | | | | | |
| 1 学 期 | A. 陶芸 シーサーの制作 【知識及び技能】 ・ 古来から日本各地にある身近なものへの地域独自の信仰や意味、込められた願いを知り、立体表現へ繋げる ・ 技法・素材・用具・手順について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ スケッチや試作などから構想をまとめる ・ 素材の特徴を理解し、デザインする ・ 工具の使用法を理解し、安全に配慮した制作をおこなう 【学びに向かう力、人間性等】 ・ シーサーの歴史や形の意味を理解し、素材感や形態の面白みを考えながら制作する | ○ 陶芸 シーサーの制作 (1) シーサーについて、調べ学習 (2) アイデアスケッチ・デザイン (3) 粘土による制作、素焼き (4) 施釉、本焼き (5) 鑑賞 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・ 造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・ 造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 22 |
| 2 学 期 | B. 木工 動く木の玩具づくり 【知識及び技能】 ・ 生活の中での遊びを観察し、工芸とのかかわりを考える ・ 技法・素材・用具・手順について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 観察をもとに自由に発想する ・ スケッチや試作などから構想をまとめる ・ 素材の特徴を理解し、デザインする ・ 構想にもとづいて材料や用具を選択し制作する ・ 工具の使用法を理解し、安全に配慮した制作をおこなう 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 動くおもちゃの構造を理解し、素材感や形態の面白みを考えながら作成する | ○ 木工 動く木の玩具づくり (1) アイデアスケッチ・デザイン (2) 図面作成 (3) 工具による制作 (4) 鑑賞 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・ 造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・ 造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 28 |
| 3 学 期 | C. ガラス パーナーワーク 【知識及び技能】 ・ パーナーワークの工程を理解する ・ 道具の使用法を理解する ・ 安全対策を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え意匠を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 創造的な形態を意識する ・ ガラスの特性を生かした表現に挑戦する | ○ ガラス パーナーワーク (1) アイデアスケッチ・デザイン (2) パーナーワーク技法による制作 (3) 下絵付け・施釉 (4) 鑑賞 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・ 造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・ 造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | 70 |

飛鳥 高等学校 令和8年度（3年次用）教科

芸術 科目 ホビークラフト

教科：芸術

科目：ホビークラフト

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 年次 1 組～ 6 組

使用教科書：（

）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 ホビークラフト

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に見立てたり心情と関連づけたりするなど、イメージや作風などでとらえることを理解する。 | 使う人の願いや心情、生活環境などの視点から発想し、使う人や場などに求められる機能と美しさと調和を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 | 主体的に、使う人の願いや心情、生活環境を心豊かにする表現や、造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の願いや制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞に取り組もうとする。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|---|----|---|----|---|---|---|---|----------|
| | | | 身 | 社 | | | | | | |
| 1 学 期 | A. イメージを表現する (立体造形：神様の仮面) 【知識及び技能】 ・生活や身近な自然を観察し、何かに見立てることができる。 ・技法・素材・用具・手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・観察をもとに自由に発想する。 ・スケッチや試作などから構想をまとめる。 ・素材の特徴を理解し、デザインする。 ・構想にもとづいて材料や用具を選択し制作する。 ・工具の使用方法を理解し、安全に配慮した制作をおこなう。 【学びに向かう力、人間性等】 ・発泡スチロールや張り子の特性と作品の構造を理解し、素材感や形態の面白みを考えながら作成する | ○イメージを表現する (立体造形：神様の仮面) (1) お面について (2) カービングとモデリングによる立体造形制作 (3) 着彩 (4) プレゼンテーション・鑑賞 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 22 |
| 2 学 期 | B. 土で作る (陶芸：ミニチュア仮面) 【知識及び技能】 ・日本の伝統文化としての陶芸の概要を理解する。 ・陶芸の工程を理解する。 ・道具の使用方法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・てびねりの技法について理解し制作する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・基本的な技法を習得し、創造的に制作する。 ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。 | ○土で作る (陶芸：ミニチュア仮面) (1) 陶芸について概説・鑑賞 (2) 仮面のアイデアスケッチ (3) 土ねり (4) 形成 (5) 素焼き (6) 着彩・施釉 (7) 本焼き (8) 鑑賞 | ○ | | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | C. クレイアニメーションの制作 【知識及び技能】 ・構図や動き、場面の変化などの効果を捉え、表現方法を創意工夫して表す。 【思考力、判断力、表現力等】 ・アニメーションの特性を生かした表現の工夫や効果、作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・アニメーションの特性を生かして表現する学習活動に、主体的に取り組む。 | ○クレイアニメーションの制作 (アニメーション) (1) クレイアニメーションについて概説 (2) ストーリー・キャラクター制作 (3) セット、人形等の制作 (4) 絵コンテの制作 (5) 撮影・編集 (6) 鑑賞 | | | | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 32 |

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用）教科

日本の伝統文化 科目 陶芸

教科：日本の伝統文化 科目：陶芸

単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 全クラス

使用教科書：（ ） な し （ ）

教科 日本の伝統文化 の目標：

【知識及び技能】日本の伝統文化に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】日本の伝統文化のよさや美しさを理解して深く味わい、表現し伝えることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり日本の伝統文化を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 陶芸 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|-------------------------------------|
| ○日本の伝統文化である陶芸の技法について理解を深め、制作することができる。 ○意図に応じて制作方法を創意工夫し、創造的に表している。 | ○造形的な良さや美しさ、表現の意図と創意工夫、陶芸の役割りについて考える。 ○思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値観を持つ。陶芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めている。 | ○主体的に日本の伝統文化・陶芸の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|-------------|--|--|----|---|----|---|---|---|---|------------------|
| | | | 身 | 社 | | | | | | |
| 1 学 期 | A. 焼き物について 【知識及び技能】 ・日本の伝統文化としての陶芸の概要を理解する。 ・陶芸の学習内容のイメージを持ち、陶芸と日常生活の関わりについて考える。 | ○焼き物について (1) 土について (2) 焼き物の工程について (3) 道具の扱いについて (4) 鑑賞 | | | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか | ○ | | ○ | 2 |
| | B. 手びねりによる制作 【知識及び技能】 ・荒練菊練の技法を習得する。 ・陶芸の工程を理解する。 ・道具の使用方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え発想する。 ・食器や器などの焼き物を制作を通して、陶芸の技術と知識を習得し、技術性や生産性を主とするデザインを学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・手びねり・ひも作り・たたら作りを習得し、制作を行う。 ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。 | ○手びねりによる制作 (1) 土の練り方（荒練・菊練） (2) 玉づくりによる茶碗 (3) たたらづくりによるマグカップ (4) 紐づくりによる一輪挿し (5) 土鈴 (6) 絵付け・施釉 (7) 鑑賞 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 20 |
| 2 学 期 | C. ろくろによる制作 【知識及び技能】 ・菊練・電動ろくろの技法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え発想する。 ・食器や器などの焼き物を制作を通して、陶芸の技術と知識を習得し、技術性や生産性を主とするデザインを学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ろくろ作りの技法を習得し、制作を行う。 ・素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。 | ○ろくろによる制作（1） (1) ろくろの使用方法和用具について (2) ろくろによる湯のみ・茶碗・マグカップ作り (3) 絵付け・施釉 (4) 鑑賞 | ○ | ○ | ○ | 【知識・技能】 ・造形的な知識・技能を習得できたか 【思考・判断・表現】 ・造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 28 |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|--|---|---|---|----|
| 3 学 期 | <p>D. ろくろによる制作</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 菊練・電動ろくろの技法について理解する。 ・ 実用的及び造形的な蓋の役割、美しさについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身および他者の生活空間を観察し、そこで使うことを考え発想する。 ・ 食器や器などの焼き物を制作を通して、陶芸の技術と知識を習得し、技術性や生産性を主とするデザインを学習する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ろくろ作りの技法を習得し、制作を行う。 ・ 素焼き後、効果的な絵付けおよび施釉を施す。 | <p>○ろくろによる制作（2）</p> <p>(1) ろくろの使用方法和用具について</p> <p>(2) ろくろによる大皿・中皿作り</p> <p>(3) 絵付け・施釉</p> <p>(4) 鑑賞</p> | ○ | ○ | ○ | <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 造形的な知識・技能を習得できたか <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 造形的な知識・技能を活用し、造形的な思考力・判断力・表現力を身につけたか <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 造形的な試行錯誤をし、粘り強く学習に取り組めたか | ○ | ○ | ○ | 20 |
| | | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | | 70 |